

0. 授業の始めに...

マルチメディア論

1年次の授業・・・コンピュータ演習 等々

- ・マルチメディアとは？
- ・インターネット、ホームページ
- ・簡単なプログラム作成法
- ・プレゼンテーション

その他・・・情報社会論 等々

- ・情報と社会との関わり

基礎的な事(用語・内容・考え方)は十分理解している？覚えている？

当然、ほかの授業科目で学んだ知識も関係してきます

(2年次後期の選択科目である意味を理解してほしい)

マルチメディアは難しい！？のか？？？ ... yes. (少なくとも私にとっては)

「マルチメディアの難しい所はどこだろうか？」と考えてみると

コンピュータ・通信・家電・放送・映像・生活(含む 商業・経済・経営)・・・等
多くの分野が関係している

だからマルチメディアはわかりにくいのかもかもしれない

(多くの部分が離合集散を繰り返している)

これらすべての“プロ”になることは難しい(できない) 全てを知ることすら難しい

例えていうなら・・・

最初はこじんまりした田舎町のような状況で、「何でも屋」でいられたのだが、
この環境はもう、十分大きな町に育ってしまった。
個々人の影響範囲は限られてきている。

ちょっと昔
今では

マルチメディアによって生活は変わるのか？ ... no.(私はそう思っている)

「マルチメディアによって生活が変わります」という話がある(授業要綱にも書いたが...)

とはいっても生活が変わった人たちは存在するのは確か

この授業の切り口として「変わらない」という立場でせめてみたい

過去に、同じようなことはあったんじゃないのか？

活版印刷機、自動車、飛行機・・・

なぜそう思うのか・・・

理由 1) 生活や文化は堅固？

携帯機器・情報機器を上手く使いこなしている若者達

多くの人たちは生活に上手く取り込んでいる

「振り回される」ことを望んでいないしそうならない

人の生活や文化というものは(多分)「丈夫」なものである

ということは表面上の変化にとどまるということ？

「本質」部分っていったい???

理由 2) 言葉のゲーム？

最近 IT という言葉が聞かれている(情報技術)

- ・インターネット
- ・マルチメディア
- ・イントラ・エクストラ ネット
- ・携帯機器
- ・VR
- ・IT or ICT
- ・ブロードバンド
- ・ユビキタスコンピューティング
- ・IP 電話

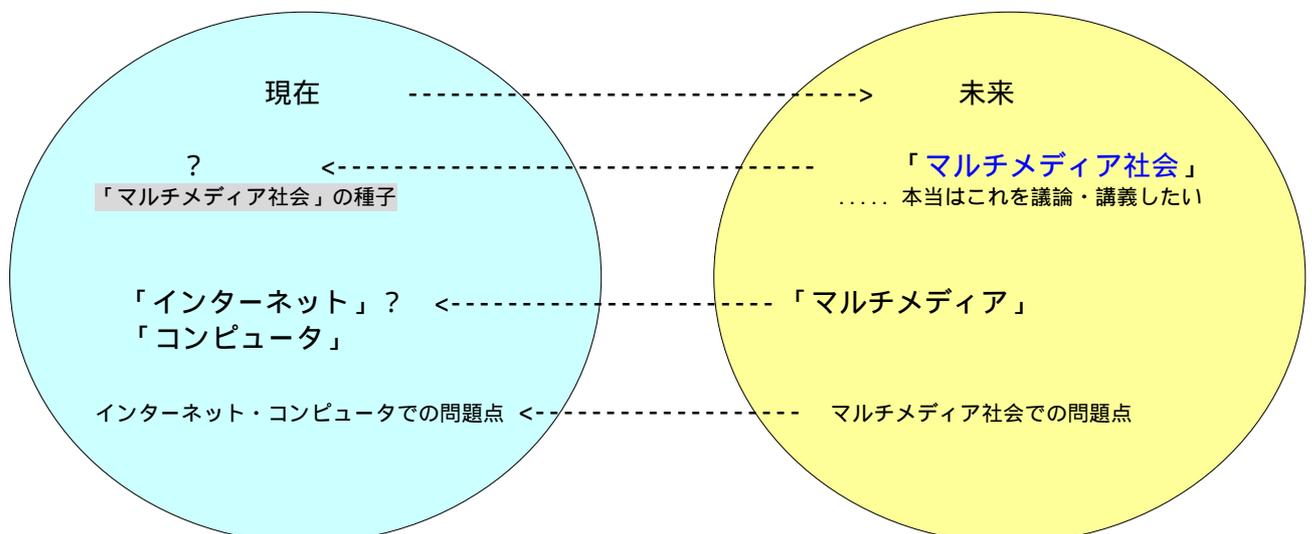
「流行(はやり)」を作っているのは誰？

で、これらのキーワードで表される事によって生活が何か変わった？

「マルチメディア」という言葉もそのうち死語になる？

「IT」と「マルチメディア」

マルチメディア論 (の授業の目的)



- ・未来の「マルチメディア社会」を議論することが目的なんだけれど...
この授業が初めて開設されたときに比べれば、普通に見聞きする言葉になってきたけれど
そんなもの判るはずがない
「予言」を的中させるには「予言通りの未来を作ってしまう」事だが
授業で困ってしまう(私の本音)
- ・代わりに「コンピュータ」「インターネット」を中心にして、
「生活」「文化」について「対話的」に授業をしていく(いこうと考えている)
ですから、「コンピュータ」の話、「インターネット」の話を含めて
色々なことを扱います。
ほかの科目・授業と重なることもあります。
- ・この授業では・・・いわゆる「ホームページを作る」ことは目的としない。
だが「ホームページ道具として使用する」ことには積極的に取り組んでいくつもりである。
「ホームページの周辺」を考える・利用する。

「講義」科目である コンピュータは使うが「実習」科目ではない
授業そのものをマルチメディア化することも目的ではない(だがやはりやれることはやるつもり)
折角ですからコンピュータは積極的に使いましょう。

- ・「参加型」の授業ができないかな？と
こうした社会・・・「多様な価値観」「個性」
そういうことで、いろいろと試行錯誤しましょう。

双方向の授業・学習形態(?)

意見を聞きたい・・・そのためのチャットや掲示板を準備して利用したい
ホームページ・・・授業での関係する資料を(資料への情報を)まとめる
<<http://www.egamix.com/egami/class/2004multi/index.html>>
みなさんのホームページとのリンク

コンピュータ教室を使うための欠点(いいことばかりではありませんね)を理解することも

この授業の「評価」に関して

- ・いろいろ考えてもらうこと、頭を使うことを目的としたい
- ・どうしましょうか
 - ・前年度は 出席+レポートの提出+試験+授業参加の度合い で評価を行いました
- ・ノートや授業資料の扱いについて
 - ・前年度は定期試験時「コピーではないノートの持込み可」の条件を課しました
 - ・Web 上で公開していきます(ただし印刷はできません)
 - ・すべてを書き写す必要はありません(私の講義用のメモがかなり含まれています)
 - ・必要だと思うところ、重要だと思うところを重点的に!